

年頭のごあいさつ

平成29年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

東日本大震災から6年目を迎えますが、地域の復興と創生に向け職務に精励されている職員の皆様には、あらためて敬意を表するものでございます。

さて、国家公務員等の退職手当については、人事院が5年度ごとに民間の退職金を含む退職給付を調査し、必要に応じて見直すこととされております。前回は平成23年に実施され、平成24年3月に調査結果と人事院の見解が報告されました。その結果、国は退職給付の官民格差（官が民を402万円上回った）を退職手当の引き下げで是正し、本組合もご承知のとおり国に準じて3段階で引き下げを行いました。

平成28年の調査スケジュールが前回と同様の場合、結果は今年3月から4月にかけて人事院から報告される予定となります。組合としましては、当該報告が退職手当に及ぼす影響を注視し、場合によっては市町村に適宜情報を発信するなど、迅速に対応することと致します。

組合は、職員の皆様が安心して公務に専念できるよう、なお一層努めて参りますので、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

県内市町村の益々のご発展と職員皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

平成29年1月

宮城県市町村職員退職手当組合

組合長 佐藤 勇

(宮城県栗原市長)